

令和7年 ウズベキスタン派遣



ウズベキスタンの首都タシケントと、世界遺産に登録されているサマルカンドを訪れました。サマルカンドのレジスタン広場では、シルクロードの要所として栄えた歴史と、建築の美しさを学び、モスクでは実際にイスラム教の方々が祈りする様子も見ることができました。また、どの建築物も外装・内装ともに繊細で圧倒されるものでした。

また、宿泊したホテルの部屋にはお祈りの方向を示す矢印マークがあり、イスラム文化の暮らしへの配慮も実感しました。

現地の高校で日本語を学ぶ学生たちと交流し、折り紙や福笑い、ウズベキスタンのダンスを楽しみました。日本文化にも興味を持ってきていて、たくさん質問をしてくれました。その後、学生たちとバザールやスーパーで現地ならではの買い物文化を体験し、値下げに挑戦したり、お会計前に商品を開封して飲食してもいいという文化を体験したりしたことが印象的でした。



戦後、日本人捕虜の人々が建設に携わったナヴォイ劇場を訪れ、細部まで美しい装飾や、巨大地震でも残った建物に、日本人の技術の高さを感じました。日本人墓地でお祈りもしました。街中や観光地では多くの方が笑顔で声をかけてくださり、日本語であいさつしてくれる場面もあり、ウズベキスタンの方々の日本人への親しみと、日本とのつながりを強く感じました。